

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和7年12月17日

総務委員会

速報版

- ・ 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- ・ 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- ・ 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午後1時14分開会

○渡辺ひであき委員長 皆さんおそろいですので、
ただいまから総務委員会を開会させていただきます。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 まず初めに、記録署名員2
名を御指名申し上げます。

伊藤委員、土屋委員、よろしくお願いをいたします。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、議案の審査に移ります。

第144号議案 令和7年度足立区一般会計補
正予算（第8号）を単独議題といたします。

執行機関の説明を求めます。

○政策経営部長 恐れ入ります。補正予算案の概要
をお開きください。

1ページになります。

一般会計が8号補正となりまして、3,400
万円余の増額。

続きまして2ページ、歳入でございます。

歳入につきましては、19番、こちら財政調整
基金からの繰入れとなっております、同額の補
正となっております。

続きまして、歳出、5ページでございます。

総務費で3,400万円余の増額、こちらは一
部住民税過誤納還付金、こちらの不足が生じる見
込みであることから補正予算を計上したものでござ
います。

また、6ページでございます。

小・中学校最上階普通教室への遮熱レースカー
テンの購入、こちらは令和8年度夏の導入に向け
まして債務負担行為を設定するものでございます。

補正後の基金現在高は、11ページのとおりで
ございます。

○渡辺ひであき委員長 何か質疑ございますか。

○はたの昭彦委員 何点かお聞きしたいのですが、
住民税の過誤納還付金についてですけれども、当
初の見込みよりもその還付金が多くなったという
ことですが、事前に御説明あったところ、
株価が上がり調子、上り調子というかな、上がっ
ている状況においてはこういう事例はよく発生す
るということですが、令和7年度当初予算
は令和6年に比べて10%増、それぐらいは上が
るだろうという見込みで予算を組んだけれども、
想定以上に株価が上がっているという理解でよろ
しいでしょうか。

○納税課長 株価の想定というのはいたしておりま
せんが、株価が上がっているということもござい
ますけれども、今回、株の上昇の想定というのが
なかなか我々でできておりませんで、令和5年と
令和6年の比較で当初予算を組ませていただきま
した。

なので、株価というよりは、返還額が増えてい
くであろうと、そういう予想に基づいて想定した
ものでございます。

○財政課長 株価も総体的に上がっているという状
況はおっしゃるとおりかと思いますし、それに伴
って利益が増大した方が多く、その取引の損失が
そこで出てきたというところもありますので、
この還付金が出ているというところでございます。

想定としては、先ほど説明あったとおりに、実
績に基づいて増大傾向であるというところを捉ま
えまして、10%増というところでは出しております
が、想定以上に返す方が増えている、申請の
ある方が増えているという状況でございます。

○はたの昭彦委員 国の納税措置に基づいて還付が
生じているということはある程度仕方ないのかな
と思ったのですが、これ最初聞いたときに
非常に不思議な感じがしたのですね。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

というのは、株取引というのは個人が資産を増やすために自己の判断で売り買いをするわけです。その場合の損失が数年にわたって繰越しで控除できるということと言うと、何でなのだろうと。

例えば中小企業者などは、赤字が出て、次の年が黒字になったという場合には、その前の年の赤字分を補填する形で税額が下がるということはないと思うのです。そういう意味では、非常に優遇されているなという気がしたのですけれども、区の認識はどうでしょうか。

○納税課長 国の制度でございますので、私からの意見は、そういうものだという事ですけども、やはり貯蓄から投資へと、そういった流れで国力を上げていこうと、そういった想定があるのではないかと、私、想像するところでございます。

○はたの昭彦委員 貯蓄から投資へという国の方針があるわけですけども、ただ、株を買える人、一部の富める人たちが株を買えるということと言うと、非常に不公平というか、庶民からすれば納得できない感じがするなというのは申し上げておきたいと思います。

それと、小・中学校の設備の方ですが、遮熱レースカーテン、これ当初見たときに、最上階の教室のみということですけども、確かに最上階の教室というのは、総体的にほかの階数に比べると部屋の温度が高いということはあるのですね。

遮熱カーテンで一定の効果はあるとは思いますが、そもそも最上階の部屋の温度が高いというのは、天井の断熱が十分ではなくて、天井からの輻射熱によって気温が上がるということが根本原因かと思うのですが、それについていかがでしょうか。

○学校施設管理課長 はたの委員おっしゃるとおり、最上階というのは天井からの熱によって室温が高くなる傾向にございます。

ただ、区としましては、大規模改修のときですとか、屋上の防水の工事のときには、そういった

断熱の工事などの取組をさせていただいてるところでございます。

○はたの昭彦委員 屋上の断熱も大事だけれども、室内の天井の断熱が求められているのではないかと思いますし、今後そういう対策も必要なのではないかと思います。

それとともに、最上階だけということと言うと、その下の2階、3階の教室の室内温度はどうかというのが非常に気になったのですけれども、昨今の気候変動の中で、36度、37度という気温があつて、クーラーが最上階で効きにくいということはあるのですけれども、ほかの階の教室というのは、いわゆる文科省が定めている教室の適正温度、17度から28度に収まっているということでの調査はしているのでしょうか。

○学校施設管理課長 今回、学校の方に協力をいただきまして、各フロアの普通教室の室温を計測させていただきました。おおむねエアコンは効いている状況だと、区としては認識しております。

ですので、今後、エアコン等、その辺しっかりと、何か不具合等があれば、いつでも御相談いただければこちらの方で対応して、適切な室内温度を実現していくように努めてまいりたいと思います。

○はたの昭彦委員 基本的に反対するものではありませんけれども、ただ、最上階だけでなく、ほかの階下の教室についても、今後は気候変動の中で気温上昇が予想されるわけですから、ほかの教室についても遮熱カーテン等の室温対策は必要だと思いますので、その辺の対策を検討していただきたいと思います。要望です。終わります。

○渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

○岡安たかし委員 質疑というか、1点確認です。この住民税の過誤納還付金、分かりづらいので私の方も調べまして、例えばこれ株だけじゃないでしょうけれども、先物取引もそうでしょうけれども、100万円マイナスになっちゃったと、今年。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

もともと、先ほどはたの委員言われた、不公平じゃないかとあるのですが、100万円利益を得たら、ざっくり住民税と合わせて2割、20%払うわけですから、確定申告や住民税として区に2割を払うので、それはそれで利益出たときに払いますと。

100万円例えばマイナスになっちゃったと、今年。そうすると、翌年30万円利益が出た、その次も30万円利益が出た、最後の年40万円利益が出た、3年間で100万円利益出たけれども、最初の年に100万円マイナスになっちゃったから、さっき言った20%、住民税と合わせて。これを免除してあげましょと、こういう制度ということでよろしいのですね。

○納税課長 岡安委員おっしゃるとおりでございます。

○岡安たかし委員 国が決めた制度ですから、これはこれで区にその感想を求めてもしょうがないのかなと思いますし、もうかっているときは2割ちゃんと住民税と合わせて払うわけですから、3年間そのマイナスを繰り越してあげるというのも1つの考え方としては、3年間がいいのか、2年間がいいのか、4年間がいいのか、これは国が決めることなのであれですけれども、私は、これはしょうがないのかなと思いますし、そうやって過誤納還付金が出たということは、マイナスになった人も大きかったということですから、これはこれで、株等を買った人がもうけたときはちゃんと2割払ったけれどもマイナスになっちゃった人も多かったということで、かなり打撃を受けた人も多かったのだらうなということで、理解してあげなきゃいけないと思っています。これは確認で、ありがとうございます。

○渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

次に、各会派からの意見を求めます。

○伊藤のぶゆき委員 賛成で。

○岡安たかし委員 可決をお願いします。

○はたの昭彦委員 先ほど申し上げたように、富める者が、持てる者が優遇されるような制度だと思います。ということはあるのですが、国の制度に基づいてのことなので、この議案については賛成したいと思います。

○へんみ圭二委員 賛成です。

○川村みこと委員 賛成です。

○土屋のりこ委員 賛成です。

○渡辺ひであき委員長 これより採決いたします。

本案は、原案のとおり可決すべきものとする
ことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 御異議ないと認め、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして総務委員会を終了いたします。

午後1時24分閉会